

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市白石区民センター	所在地	白石区南郷通1丁目南8
開設時期	昭和49年11月	延床面積	2,245.33㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール、集会室(5部屋)、視聴覚室、和室(2室)、料理室、多目的室、図書室		
2 指定管理者			
名称	一般社団法人 札幌市区民センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことにより、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼施設の設置目的を十分に踏まえ、「地域住民のコミュニティ活動及び生涯学習活動を支援する拠点施設として、公平・公正な管理運営を行うとともに、利用者サービスの向上及び効率的な施設運営を推進する」ことを基本方針として業務を実施した。 ▼貸室利用においては公平な利用機会の確保に努めるとともに、各種講座や事業を通じて地域住民の交流促進及び学習機会の提供を図った。 ▼また、省エネルギーや資源の有効活用に取り組みながら、快適な施設環境の維持に努めた。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼施設利用に当たっては、札幌市区民センター条例及び関係規則に基づき、公平・公正な取扱いを徹底した。 ▼貸室利用申込みについては、利用者間に不公平が生じないよう適切に対応するとともに、申込みが重複するケースも多いことから適正な抽選の実施に努めている。 ▼また、講座及び各種事業については、アンケート調査の結果を踏まえ、幅広い年齢層が受講できるよう配慮するとともに、内容も趣味、運動系、健康、福祉、老後の生活等々幅広い分野で企画し、周知方法にも工夫することで、平等な利用機会の確保に努めた。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼今年度も例年どおり「二酸化炭素排出量の削減」を行動目標に掲げ、GXの取組を進める札幌市や白石区との連携を十分に図り、冷暖房の室温管理を徹底した。また、職員、関連業者及び施設利用者の協力を得ながら環境保全の取り組みを進めている。 ▼具体的な取り組みとしては、「職員環境行動マニュアル」に基づき、貸室未使用時の消灯、トイレ給湯室等のこまめな消灯、退庁時の電源プラグ抜き取り、節電・節水、紙使用量・ごみ減量、リサイクル(分別)、等への理解と協力を求めた。 ▼施設利用者への大量ごみ持ち帰りの呼び掛けが定着し、実践されている。 ▼グリーン購入ガイドライン指定品を100%利用した。 ▼紙の両面印刷、チラシ等裏面印刷の励行。 ▼職員研修として「環境マネジメント研修」を実施し、全職員が受講、環境に対する意識の向上を図っている。 ▼一方で温暖化に伴う気温の上昇傾向にも対応し、夏季の冷房の適切な使用を図ること、熱中症等利用者の健康被害の予防、さらには札幌市の施策としての区民センターのクーリングシェルター利用にも対応している。	貸室業務における高い利用率を維持するとともに、講座や各種事業を通じて地域住民の生涯学習及びコミュニティ活動の推進に寄与することができた。 また、公平・公正な施設運営を基本としながら、経費の節減や環境への配慮に努める一方、利用者サービスの向上を目的とした備品整備や施設環境の改善を進めることができた。 講座については計画した事業を概ね実施し、参加者からも高い評価をいただいている。今後も区民ニーズの把握に努め、より魅力ある施設運営を目指していきたい。 貸室の利用申込みについては条例及び規則に基づき、公平・公正な取扱いを徹底した。また、講座や事業についても広く周知を行い、多くの区民が参加できるよう配慮した。 利用申込みが重複した場合についても公開抽選を適切に実施し、透明性の確保に努めた。今後も利用者への丁寧な説明を心掛け、公平性の高い施設運営を継続していきたい。 地球温暖化対策及び環境配慮の推進は社会全体としても大きな課題として認識されており、引き続き、区、設備業者、清掃業務員と十分に連携しながら、利用者に対する協力の呼びかけを推進していくとともに、CO2削減に努めていく。 また、環境に関する職員研修についても継続して実施する。	<table><tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr><tr><td colspan="4">協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。 職員研修として「環境マネジメント研修」を実施し、全職員に受講させることで職員の環境に対する意識向上を図り、区民にも発信していくことで環境保全の取組を更に推進している。 また、運営協議会総会において、日頃から利用している団体や地域関係者からセンター運営に対し意見を得るなど効果的な取組を実施している。</td></tr></table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。 職員研修として「環境マネジメント研修」を実施し、全職員に受講させることで職員の環境に対する意識向上を図り、区民にも発信していくことで環境保全の取組を更に推進している。 また、運営協議会総会において、日頃から利用している団体や地域関係者からセンター運営に対し意見を得るなど効果的な取組を実施している。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。 職員研修として「環境マネジメント研修」を実施し、全職員に受講させることで職員の環境に対する意識向上を図り、区民にも発信していくことで環境保全の取組を更に推進している。 また、運営協議会総会において、日頃から利用している団体や地域関係者からセンター運営に対し意見を得るなど効果的な取組を実施している。											

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼管理運営は住民組織、利用団体関係者などから構成される白石区民センター運営委員会を組織し、その事務局として総括責任者の事務局長（館長）1名、事務局次長1名のほか、常勤職員として事務室3名、図書室に司書資格者4名の常勤職員を配置し、計9名の職員体制となっている。
 夜間は委託職員7名のローテーションにより常時2名で管理体制の万全を図っている。
 ▼人材の育成については、基本的な業務をOJTにより実施し、業務知識、経理、接遇、図書などの研修については、市区民センター運営委員会、中央図書館との共同により研修を行っている。
 ▼貸室の高い利用率の背景には日々の職員の高い対応力と業務日誌や日常のコミュニケーションを通じた情報共有が寄与している側面もあり、今後も円滑な施設運営に努めている。

職員配置については業務仕様書に基づき適正に実施し、館長を中心とした組織体制のもと円滑な施設運営を行うことができた。
 また、接遇や施設管理、図書業務等に関する研修へ参加するとともに、職員間で情報共有を図ることで業務水準の維持向上に努めた。
 貸室利用や講座事業の増加に伴い業務量も増加しているが、今後も職員の資質向上と働きやすい職場環境の整備に努めていきたい。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼経常的な取り組みとして職員業務日誌（事務室）、図書業務日誌、夜間案内業務日誌を最大限活用することはもとより、適宜、情報の共有化を図るべく、会議資料等の供覧による周知を図っている。
 ▼利用者から寄せられた意見や要望について職員間で共有し、サービス向上及び業務改善につなげた。
 ▼業務の見直し等については、区民センター館長会議の中で協議、検討を行い、必要な見直しを行っている。
 ▼備品の更新や施設環境の整備についても利用者ニーズを踏まえながら実施し、利用しやすい施設づくりに努めている。

職員業務日誌や各種会議を活用し、情報共有の徹底を図ることで管理水準の維持向上に努めた。また、利用者から寄せられた意見や要望についても職員間で共有し、サービス改善に反映した。
 今後も利用者目線に立った施設運営を行い、サービス向上に努めていきたい。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

▼夜間案内業務についてはシルバー人材センターへ委託し、業務日誌の確認及び情報共有を通じて適切な履行確認を行った。併せて区民センター職員との情報共有、連携を密に行い円滑な業務実施を図っている。

夜間案内業務をはじめとする委託業務については、業務日誌の確認や情報共有を通じて適切な履行確認及び管理を行った。委託事業者との連携も良好であり、施設運営に支障なく業務を実施することができた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼札幌市及び関係機関との連携を図りながら施設運営を行い、必要に応じて協議及び報告を実施した。
 また、運営協議会を開催し、利用団体や地域関係者との意見交換を行うことで、施設運営に対する意見や要望の把握に努めた。

開催回	協議・報告内容
第1回 6月23日 (総会)	・令和6年度事業報告 ・令和7年度事業計画 ・令和6年度利用者アンケートについて ・懸案事項についての意見交換
第2回 12月9日 (中間報告会)	・令和7年度上期事業報告 ・令和7年度予算の執行状況 ・今後の事業予定 ・施設・設備等の整備概要 ・意見交換
<協議会メンバー> ・東札幌地区主任児童委員 ・白石区寿大学同窓会副会長 ・おもちゃ病院主宰者 ・子育てサロンおてつないで主宰者 ・白石区地域振興課長、同地域活動係長 ・白石区民センター運営委員会委員長、同副委員長 同委員2名	

区との連携を密に図り、必要な協議・報告を適時実施した。また、運営協議会において利用団体や地域関係者から意見をいただき、施設運営の改善やサービス向上に反映させることができた。
 今後も地域との連携を深めながら、地域に根差した施設運営を進めていきたい。

	▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理については、指定管理業務の詳細な経理を実施しており、税理士事務所に外部委託し、監査、点検、確認を行っている。 ▼現金等の取り扱いについては、会計規程を整備して、適正な処理に取り組んでおり、複数の職員によるチェックを徹底し、売上金等は速やかに金融機関に預け入れる等、迅速な処理を行っている。 ▽ 要望・苦情対応 要望・苦情対応については、その都度館長まで報告することになっている。また、直接職員に苦情があった場合等は館長が代わって対応する事とし、その結果は職員並びに区へ報告を行っている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼利用者アンケート調査を実施しその結果をロビーに提示した。 ▼運営委員会委員にも詳細を報告し、意見を求めている。 ▼講座参加者に対するアンケート調査を講座終了時に実施しており、今後の計画策定にあたっての参考としている。 ▼検査の結果、業務の見直しや改善が必要な場合は直ちに対応し、適切な処理に努めている。	予算の執行管理、現金の取扱いについては業務仕様書に求められた事項を適切に実施できている。 要望・苦情については、迅速かつ誠実な対応が求められ、速やかな報告、対応、解決に努めた。 利用者アンケートの結果と意見の分析、それらに対する対応が今後の施設利用に反映されてくることから、今後に向けアンケートを踏まえた工夫、改善に努めている。									
(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ▼令和7年10月1日付で「札幌市区民センター運営委員会給与規程」を改正し、職員給与のベースアップを実施した。その結果、最低賃金1,075円(令和7年10月4日発効)を上回った。 ▼改正を行った「職員給与規程」は労働基準監督署に提出しており、労働基準法をはじめとする関係法令を遵守し、適切な労務管理を実施している。 ▼職員の勤務時間管理や年次有給休暇の取得促進に努めるとともに、定期健康診断を実施し健康管理の充実を図った。 ▼施設で働く職員に時間外労働又は休日労働を命令する場合は、あらかじめ、書面により労使協定(36協定)を交わし労働基準監督署に届け出を行っており、法定に沿った割増賃金を支給している。 ▼育児休暇・介護休暇の規程整備を図り、「改正育児・介護休業法」に対する対応を令和7年10月1日から開始した。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させている。 ▼各種保険への加入やハラスメント防止対策を継続し、安心して働くことのできる職場環境の維持に努めた。 ▼年1回の定期健康診断を実施した(職員全員)。 ▼労働基準監督署からの行政指導は受けていない。 ▼指定管理者の申し込み時に提出した「ワーク・ライフ・バランス」の取り組みについてはこれを適切に実施している。 ▼職員個々が市民サービスの向上、経費の縮減に意欲をもって取り組めるよう適切に労働環境を整えた。また、日頃から事務室内はもちろん、貸室についても職員が交代で巡回点検しており、結果、職場内における事故は発生していない。	労働関係法令を遵守し、適切な勤務管理及び雇用環境の維持向上に努めた。定期健康診断の実施や各種休暇制度の適切な運用を行い、職員が安心して働くことができる環境づくりを進めている。 また、研修参加やOJTを通じて職員の能力向上を図り、利用者サービスの向上につなげることができた。 高い利用率を維持する中で職員の業務負担も増加していることから、今後も働きやすい職場環境の整備と人材育成に努めていきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。給与規程を改正し職員の給与をベースアップしたことは雇用環境の維持向上に資するものであり大いに評価できる。</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。給与規程を改正し職員の給与をベースアップしたことは雇用環境の維持向上に資するものであり大いに評価できる。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。給与規程を改正し職員の給与をベースアップしたことは雇用環境の維持向上に資するものであり大いに評価できる。											

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項 (利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼施設利用者の安全確保を最優先に、日常的な巡回及び点検を実施した。 ▼拾得物については取扱要領に基づき適切に管理するとともに、利用者からの問い合わせ等に対しても丁寧な対応を行った。 ▼損害賠償保険は施設賠償保険、行事参加者傷害保険に加入し万全を期している。 ▼区役所と一体となった複合庁舎のため、利用者から総合案内的な役割を求められるケースもあり、区役所関係部署の問い合わせあるいは近隣施設に関する問い合わせ等には懇切丁寧に案内している。 ▼節電対策及びウォームシェア、さらにはクーリングシェルターについて、札幌市、白石区と連携して利用者に周知した。 ▼区役所や関係業者との連携を図りながら、安全で快適な施設環境の維持に努めた。	利用者の安全確保を最優先に施設管理を行い、日常点検や巡回を通じて事故防止に努めた。また、利用者からの問い合わせや要望に対しても丁寧な対応を心掛け、市民サービスの向上に努めた。	協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。																																																																																	
	▽ 施設・設備等の維持管理 (清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼施設及び設備については、日常点検及び定期点検を実施し、不具合箇所の早期発見と適切な対応に努めた。 ▼施設管理に当たっては、設備業務員及び清掃業務員と連携しながら維持管理を行い、利用者が快適に利用できる環境の確保に努めた。 ▼備品についても適切な管理を行い、必要に応じて修繕及び更新を実施した。	利用率が高い状況の中でも施設環境を良好な状態で維持するとともに、利用者からの要望を踏まえた備品整備や環境改善を進めることができた。 今後も安全性及び利便性の向上を図りながら、快適な施設環境の維持に努めていきたい。																																																																																		
	▽ 防災 ▼防災マニュアルに基づき、自衛消防隊による防災体制を維持するとともに、日常から防災意識を持った施設運営に努めた。 ▼区と連携した避難訓練を実施し、災害発生時における対応能力の向上を図った。 ▼AEDについても館内に設置し、緊急時に迅速な対応ができる体制を維持した。さらに、操作に関わる研修も区民センターで実施している。	防災マニュアルに基づき、職員全員が防災意識を持って業務に取り組んだ。また、区と連携した避難訓練やAED研修等を実施し、災害や緊急時に適切に対応できる体制の維持に努めた。																																																																																		
(4) 事業の計画・実施業務	▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務 12講座 (定期講座8、共催講座4) 実施・1講座未実施 受講者総数167名 (前年199名) 定期講座 <table><thead><tr><th rowspan="2">講座名</th><th rowspan="2">回数</th><th rowspan="2">定員</th><th rowspan="2">参加人数</th><th colspan="3">目標値の達成率 (%)</th></tr><tr><th>参加者数</th><th>理解度</th><th>満足度</th></tr></thead><tbody><tr><td>楽しくシェイプアップ! ZUMBA講座</td><td>6</td><td>30</td><td>26</td><td>108</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>気軽に出来る! 背骨コンディショニング講座</td><td>6</td><td>16</td><td>15</td><td>115</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>はじめてのタイ語</td><td>6</td><td>15</td><td>7</td><td>58</td><td>108</td><td>125</td></tr><tr><td>耳つぼ&デトックスヨガ</td><td>4</td><td>15</td><td>15</td><td>125</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>プロ直伝! コーヒー講座</td><td>4</td><td>15</td><td>9</td><td>69</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>オトナ女子の健康バレエエクササイズ</td><td>6</td><td>15</td><td>19</td><td>158</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>女性のための健康づくりセミナー</td><td>4</td><td>16</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>はじめての自力整体</td><td>4</td><td>20</td><td>15</td><td>94</td><td>125</td><td>125</td></tr><tr><td>誰でも楽しく3B体操</td><td>6</td><td>16</td><td>5</td><td>33</td><td>125</td><td>125</td></tr></tbody></table>	講座名	回数	定員	参加人数	目標値の達成率 (%)			参加者数	理解度	満足度	楽しくシェイプアップ! ZUMBA講座	6	30	26	108	125	125	気軽に出来る! 背骨コンディショニング講座	6	16	15	115	125	125	はじめてのタイ語	6	15	7	58	108	125	耳つぼ&デトックスヨガ	4	15	15	125	125	125	プロ直伝! コーヒー講座	4	15	9	69	125	125	オトナ女子の健康バレエエクササイズ	6	15	19	158	125	125	女性のための健康づくりセミナー	4	16	0	0	0	0	はじめての自力整体	4	20	15	94	125	125	誰でも楽しく3B体操	6	16	5	33	125	125	定期講座及び共催講座については概ね計画どおり実施することができた。健康づくりや運動系講座を中心に幅広い分野の講座を企画し、多くの受講者から高い評価をいただいた。 受講者総数は167名となったが、応募者が定員を上回る講座もあり、区民ニーズの高さを確認することができた。今後もアンケート結果等を参考にしながら、幅広い世代が参加しやすい魅力ある講座の企画・実施に努めていきたい。	<table><thead><tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="4">計画した講座は概ね計画どおり開催したこと、新規の講座を企画したことは評価できる。実施した講座は参加者数、理解度、満足度においてほぼ目標値を達成している。引き続き区民のニーズを的確に把握し、ニーズに合致した各種講座の実施や効果的な広報に努めていただきたい。</td></tr></tbody></table>	A	B	C	D	計画した講座は概ね計画どおり開催したこと、新規の講座を企画したことは評価できる。実施した講座は参加者数、理解度、満足度においてほぼ目標値を達成している。引き続き区民のニーズを的確に把握し、ニーズに合致した各種講座の実施や効果的な広報に努めていただきたい。			
講座名	回数					定員	参加人数	目標値の達成率 (%)																																																																												
		参加者数	理解度	満足度																																																																																
楽しくシェイプアップ! ZUMBA講座	6	30	26	108	125	125																																																																														
気軽に出来る! 背骨コンディショニング講座	6	16	15	115	125	125																																																																														
はじめてのタイ語	6	15	7	58	108	125																																																																														
耳つぼ&デトックスヨガ	4	15	15	125	125	125																																																																														
プロ直伝! コーヒー講座	4	15	9	69	125	125																																																																														
オトナ女子の健康バレエエクササイズ	6	15	19	158	125	125																																																																														
女性のための健康づくりセミナー	4	16	0	0	0	0																																																																														
はじめての自力整体	4	20	15	94	125	125																																																																														
誰でも楽しく3B体操	6	16	5	33	125	125																																																																														
A	B	C	D																																																																																	
計画した講座は概ね計画どおり開催したこと、新規の講座を企画したことは評価できる。実施した講座は参加者数、理解度、満足度においてほぼ目標値を達成している。引き続き区民のニーズを的確に把握し、ニーズに合致した各種講座の実施や効果的な広報に努めていただきたい。																																																																																				

共催講座(生涯学習センターとの共催)

講座名	回数	定員	参加人数	目標値の達成率(%)		
				参加者数	理解度	満足度
体軸トレーニングで心身を整える	5	20	16	100	125	125
40歳からの美姿勢ベリーダンス	5	20	20	125	118	125
格闘技エクササイズで全身引締め	5	20	11	69	125	125
はじめての眼ヨガ	5	20	9	56	125	125

▽ 生涯学習に関する情報収集及び提供業務

市内の各施設で行っている講座、事業など、市民に有益な情報をポスターの掲示や、チラシの配架等により情報提供した。

▽ 地域住民の自主活動及び交流の支援業務

事業名	回数	定員	参加人数	目標数	成果指標	達成率%
おもちゃ病院ビーボー	50	956	865	956	来場者目標数の80%	90.5
年忘れ女性マージャン大会	1	43	38	43		88.0
納涼 しろいし寄席	1	150	121	150		81.0
明治食育セミナー「水分補給」	1	25	11	25		44.0
白石区民センター祭	1	600	618	600		103.0
ボランティアによる美術への誘い	1	15	25	15		167.0
医療講演会	1	30	18	30		60.0
MACKEY ZUMBA FES	1	70	90	70		129.0
図書室 なんでもクイズ	1	100	129	100		129.0
図書室 新春本の福袋	1	70	72	70		102.9

地域住民の交流を目的とした各種事業については、関係団体との連携のもと概ね計画どおり実施することができた。特に区民センター祭や各種イベントでは多くの来場者があり、地域コミュニティの活性化に寄与することができたと考えている。

図書室事業についても「図書室なんでもクイズ」や「新春本の福袋」が好評であり、図書室利用促進にもつながった。今後も地域のニーズを踏まえながら、地域コミュニティの活性化に寄与する事業を継続して実施していきたい。

共催事業

事業名	回数	定員	参加人数	目標数	成果指標	達成率%
第49回白石ふるさとまつり	1	20,000	17,000	20,000	来場者目標数の80%	85.0
ふるさとまつり遊芽カーニバル2026	1	800	1,000	800		125.0
第42回白石区ふれあいバラコンサート	1	250	392	250		157.0
令和7年度中学生の主張発表会	1	150	100	150		67.0
第47回白石区子ども百人一首かるた大会	1	100	166	100		166.0
老後の資金どう増やす?どう守る?	1	50	47	50		94.0

今後も地域団体との連携を深めながら、幅広い世代が参加できる事業を企画し、地域に親しまれる施設運営に努めていきたい。

▽地域の憩いの場づくり施設活用事業に関する業務

事業名	実施時間等	実施回数	参加人数
囲碁開放	毎週 月 10:00~16:00	50	848
子育てサロン おてつないで	毎月 第3 金 10:00~11:30	12	172

囲碁開放及び子育てサロンについては継続して実施し、地域住民の交流と憩いの場として定着している。参加者からも好評を得ており、地域コミュニティ形成に一定の役割を果たすことができたと考えている。今後も地域に開かれた施設として、多世代が気軽に集い交流できる事業の充実に努めていきたい。

・例年協力参加している就労体験事業「白石でっち奉公」は北都中学校から受入予定であったが、派遣先の中学校の都合で派遣中止となった。

▽ 図書業務

	R6年度	R7年度	増減 (%)
開館日数	341	335	98.2%
蔵書数	26,920	26,766	99.4%
登録者数	5,216	5,393	103.4%
貸出数	124,699	121,126	97.1%
相互貸借件数	20	27	135.0%
レファレンス件数	2,530	2,295	90.7%
利用案内件数	2,608	2,401	92.1%

＜利用促進事業＞

- ・図書室なんでもクイズ (7/26～8/23)
(定員100人 参加人数129人)
- ・新春本の福袋 (1/10～1/15)
(定員70人 福袋75個作成 参加人数72人)

＜所蔵図書の紹介掲示＞

[一般]

- ・お薦め作家紹介 (毎月更新)
- ・予約ベスト10 (毎月更新)
- ・一般書ミニ特集 (毎月更新)

[児童]

- ・おすすめ児童書紹介 (毎月更新)
- ・季節テーマ展示 (3ヶ月更新)
- ・児童書ミニ特集 (毎月更新)

(5) 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
ホール	件数(件)	958	665	877
	人数(人)	123,708	—	47,663
	稼働率(%)	86.3	—	82.7
会議室	件数(件)	4,700	4,050	4,743
	人数(人)	50,372	—	50,710
	稼働率(%)	87.8	—	88.4
実習室等	件数(件)	2,897	2,560	2,907
	人数(人)	32,168	—	32,732
	稼働率(%)	90.2	—	90.5
その他	件数(件)	1,631	1,268	1,737
	人数(人)	11,878	—	12,313
	稼働率(%)	78.1	—	81.3
計	件数(件)	10,186	8,543	10,264
	人数(人)	218,126	—	143,418
	稼働率(%)	86.6	—	87.2

▽ 還付15 件

▽ 利用促進の取組

- ▼区民センターPRのためしらばら通信 (区民センターだより) を年3回発行している。
- ▼ホームページを常時最新の情報に更新しているほか、貸室案内も掲載し、広さ、定員、備付備品、料金表等をご案内している。
- ▼貸室の抽選に外れた申込者に対しては、速やかに希望に沿った他の空き室を案内している。
- ▼日常業務における利用者に対する懇切丁寧な接遇、特に電話による問い合わせ時には表情が見えない分誤解を招く恐れがあることから、より一層丁寧な説明に心がけている。
- ▼様々な分野の講座・事業等を企画することで、普段利用していない人達に対するPRも積極的に実施している。

1月にシステム更新のための休室があり、R6年度より開館日数が6日減っているが、その他は通常通り開室した。安定した登録者数、貸出数を維持している。

利用促進事業について、児童向けに「図書室なんでもクイズ」を企画。幅広い年齢層が参加し図書室利用の啓発にもつながった。

「本の福袋」のアンケートには、いつもは手にしないジャンルや作家に触れられ楽しかったとの声が多くあり、9割の方が次回も参加したいと回答した。今後も継続していきたい事業である。

A B C D

稼働率が前年度と比較して高いことは評価できる。懇切丁寧な区民対応に努め、一層の利用促進につなげていただきたい。

(6) 付随業務	▽ 広報業務	▼ウェブアクセシビリティ取組確認を実施。平成31年4月にHPをリニューアルしている。 また、職員研修や生涯学習関連施設職員研修を受講することで、ホームページ作成やチラシの作成についての知識を深め効果的な情報発信を実践している。 ▼各種講座、イベント等の情報をHPに掲載し、タイムリーに更新することで利用者への的確な情報周知を心掛けている。また、各部屋で利用できる各種備品並びに事務室から貸出できる備品についても随時HPに掲載し、貸室利用の利便性を高めている。 ▼区民センター内の掲示物について、「掲示物・配架利用規則」を策定し改めて公平・公正な立場で「サークル案内」等各種ポスターを掲示している。	ホームページや広報さっぽろ、チラシ等を活用し、講座や各種事業に関する情報発信を積極的に行った。また、日頃から利用者に対する懇切丁寧な対応を心掛け、施設利用の促進に努めた。 今後も利用者ニーズを的確に把握しながら、効果的な情報発信とサービス向上を図り、新規利用者の獲得及び利用率の維持向上に努めていきたい。	A	B	C	D
	▽引継ぎ業務	前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし。					
2 自主事業その他							
▽ 自主事業	該当なし。			A	B	C	D
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	▼施設内の備品、消耗品の購入については、市内の企業への発注に努めている。 ▼夜間案内業務は、シルバー人材センターに業務委託することで高齢者雇用に配慮を行っている。 ▼福祉作業所や障がい者施設等による手作り品や作品展などを実施する場合はロビーの使用について協力している。 ▼有料演奏会、センター祭等の地域住民交流に関するイベントは、福祉優先席を設置し介助者と共に受け入れている。 ▼北海道盲導犬協会「ミーナの募金箱」を設置し協力し、盲導犬に関しての啓発に努めている。 ▼子育てサロンに手話通訳者のスタッフを配置して参加者の受入や親子同士の円滑な交流を図っている。	物品の調達に関しては、ほぼ市内の企業に発注することができた。 福祉施策に関しては、ロビーでの展示、物販等に積極的に協力することで、施策への配慮が十分にできたと考える。 今後も、高齢者並びに障がい者にとって優しい施設・環境づくりに努めていきたい。					

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	・期間 令和8年1月19日～2月16日 令和8年1月19日～2月16日(図書室) ・場所 白石区民センター・区民センター図書室 ・対象 利用者(団体・個人)、サークル、図書室利用者 ・(貸室) 調査人数 500人 回答数 340人 回収率 68.0% ・(図書) 調査人数 80人 回答数 46人 回収率 57.5%	職員対応や清掃状況、貸室、図書室に関する利用者アンケート調査を実施した。アンケートでは、職員の接遇、施設設備の管理状況及び清掃状況について高い評価をいただくことができた。また、利用者から寄せられた意見・要望については可能な限り対応し、その内容を館内掲示するなど情報共有にも努めた。今後も利用者の声を真摯に受け止め、施設運営に反映させることで、更なるサービス向上と利用者満足度の向上を目指していきたい。	アンケートを取った項目は概ね高評価を得ており適正な管理運営が行われているものと判断できる。また、利用者から要望のあった備品を新たに設置するなどニーズに沿った対応を行っていた。一方、講座等を受講したことがない利用者が多いという実態が判明していることから今後も利用者のニーズを的確に把握し、市民の教養等の向上につながるより魅力的な講座、事業の企画・実施に努めていただきたい。			
結果概要	①施設・貸室利用等について ◆貸室を利用したことがあるか ある92%、ない6%、無回答2% ◆貸室料金について とても安い5%、安い16%、妥当56%、どちらでもない10% 高い8%、無回答5% ◆貸室の利用区分について 今のままでよい83%、時間貸しがよい11%、その他0% 無回答6% ◆職員の接客態度について とても良い33%、良い38%、普通21%、どちらでもない2% 悪い1%、無回答5% ②区民センター講座・事業について ◆区民講座について 受講したことがある25%、受講したことがない71%、無回答4% ◆受講した区民講座は何で知ったか 広報さっぽろ39%、チラシ28%、ホームページ6% フリーペーパー5%、地下鉄掲示板3%、その他16%、無回答3% ◆受講料について とても安い8%、安い21%、妥当60%、どちらでもない5% 高い1%、無回答5% ◆区民センター事業について 参加または観覧したことがある32%、 参加又は観覧したことがない61% 無回答7% ◆参加観覧した事業は何で知ったか 広報さっぽろ37%、チラシ32%、ホームページ2%、 フリーペーパー3%、地下鉄掲示板2%、その他16%、無回答7% ◆参加満足度 とても満足11%、満足48%、普通28%、どちらでもない1% 不満0%、無回答12% ◆今後の利用について ぜひ利用したい63%、利用したい28% どちらかと言えば利用したい3%、どちらでもない0% 利用したくない0%、無回答6%	主催講座や事業の実施についても、概ね高評価をいただいている。今後も一つの分野に偏ることなく、また、利用者のニーズに沿った魅力的な講座や事業を企画するとともに、積極的なPRを行うことで参加者の増員につなげていきたい。				

	③図書室について ◆利用頻度 週に数回15%、2週間に1回63%、月に1回13%、 年に数回9%、初めて利用した0% ◆接客態度 とても良い63%、良い35%、普通2%、どちらでもない0% 悪い0% ◆図書室事業への参加 参加したことがある15%、参加したことがない74%、 参加したことがないが機会があれば参加してみたい11% ◆今後も図書室を利用したいか ぜひ利用したい70%、利用したい28%、 どちらかと言えば利用したい2%、どちらでもない0% 利用したくない0% ④施設全般について (貸室) ◆施設設備の管理状況 とても良い32%、良い46%、普通16%、どちらでもない0% 悪い0%、無回答6% ◆清掃状況 とても良い38%、良い44%、普通11%、どちらでもない1% 悪い1%、無回答5% (図書室) ◆清掃状況 とても良い54%、良い44%、普通2%、どちらでもない0% 悪い0%	図書事業については、事業数が少ないこともあり参加者は全体の15%であった。今後は、幅広い年齢層を対象とした事業を企画することで更なる図書室の利用者増につなげていきたい。	
利用者からの意見・要望とその対応	[要望・貸室関連] ①予約がとりづらい・固定で予約できると良い ②大きい部屋の料金が安い・もう少し安く使えるとうれしい [対応] ①利用率も高く、貸室の利用申込が重なる場合が多い。公平かつ公正な公開抽選を行い決定しているため、公平性順守の重要性を理解いただけるように日頃から利用者とのコミュニケーションを図るよう努める。 ②貸室の広さに応じて札幌市の条例で決められているので理解していただけるよう懇切丁寧な説明に努める。 [要望・施設・設備・備品関連] ①サークル用のロッカーが欲しい ②Wi-Fiがあればいい [対応] ①新庁舎に移転後の利用者アンケートでは毎年寄せられている要望ではあるが、スペースの問題で実現は難しいと思われるが引き続き札幌市へ利用者の要望として情報提供していく。 ②現在、備品として事務室から貸し出しているが、もっと広くPRしていく。 [意見・要望・図書関連] ①最新の本をもっと置いてほしい、予算上厳しいと思うが新しめの蔵書をもっと増やしてほしい [対応] ①事業についての要望である。 利用客のニーズに答えるべく、中央図書館に情報提供するとともに蔵書構成について継続的に検討を行っていく。	貸室の利用申し込み等については、条例や規則に基づいたルールを丁寧に説明し理解が得られるよう対応を継続している。 また、施設設備等に関する要望についても、理解が得られるよう懇切丁寧な説明に心がけ、引き続き札幌市へ情報提供していく。 なお、今回アンケート調査に伴う意見・要望について、可能な限り回答することとし、その回答結果をロビーに掲示している。 利用者から寄せられた意見・要望等について迅速かつ丁寧に可能な限り対応していく。	

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	46,045	49,182	3,137
指定管理業務収入	46,045	49,182	3,137
指定管理費	19,305	19,960	655
利用料金	25,610	28,258	2,648
その他	1,130	964	▲ 166
自主事業収入			0
支出	45,993	49,166	3,173
指定管理業務支出	45,993	49,166	3,173
自主事業支出			0
収入-支出	52	16	▲ 36
自主事業による利益還元			0
法人税等	52	52	0
純利益	0	▲ 36	▲ 36

[参考]	R7年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	1,299	下記のとおり

▽ 説明

▼令和7年度は29年ぶりとなる貸室利用料金の値上げを実施している。値上げによる利用の手控えなども懸念されたところではあったが、利用率は昨年をさらに上回り87.2%と非常に高い水準を維持し、これに伴って利用料金収入も順調に伸びている。

▼その他収入については、各種講座の受講者減により受講料収入が減少している一方、「しろいし寄席」などの興行収入を伸ばすことができています。

▼指定管理業務の支出については、シルバー人材センターとの契約単価の見直し、職員給与との改定等により、当初予算を上回る支出となっている。

▼利用者還元については下記のとおり

- 消耗品～ピンマイク、ホールハロゲンランプ、HDMIケーブル延長器、料理室ガラスシート等
- 修繕～図書室受付フィルムカーテン、ピアノ調律
- 衛生～料理室清掃
- 備品～集会室A天吊りプロジェクター、集会室A・視聴覚室音響設備

▼収支は、利用料金値上げによる増収の一方で人件費の増があったことから36千円の単年度赤字とほぼ均衡決算となっている。

職員の給与改定並びにシルバー人材センターとの契約単価見直しに伴う委託料の増加が見込まれたことから、年度当初より節約しながら支出していたが、7月からの利用料金値上げと高い利用率を維持できたこと、また大規模な修繕等がなかったことから、ほぼ収支均衡の決算となった。

今後も利用者に対する還元を優先的に行い、また、節約に務めながら適正な施設運営に努めていきたい。

A B C D
高い貸室の稼働率が維持され、利用料金も計画を上回っており、良好に運営されている。長期的な視点に立ち、安定的な運営ができるよう引き続き努めていきたい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

当運営委員会は、本部を中心に全市9の区民センターによるスケールメリットを生かし、経営の健全化、職員体制の適正化を図りつつ効率的な運営に努めている。令和7年度は利用料金の値上げを実施しているが、引き続き高い利用率を維持しており、剰余金も確保できていることから、今後も利用者還元を図りつつ安定した財務状況の維持に努めていく。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼料金の条例の規定に則り、適正な対応を行っている。

▼情報公開請求に基づく公開の申出はなく、オンブズマンへの対応を要する案件もなかった。

▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力関係事業者を相手とする契約は行っていない。

適 不適

III 総合評価

[指定管理者の自己評価]	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
・令和7年度は、貸室利用について引き続き高い利用率を維持し、多くの利用者に施設を活用していただくことができた。利用率は前年度を上回る高い水準となり、利用料金収入についても安定した実績を確保することができた。 ・講座・事業については、利用者ニーズを踏まえながら計画した事業を概ね実施することができた。特に健康づくりや地域交流を目的とした講座・事業については多くの参加者を得ることができ、生涯学習及び地域コミュニティ活動の推進に寄与できたものと考えている。 ・図書室事業についても、「図書室なんでもクイズ」や「新春本の福袋」など利用促進事業を実施し、多くの参加者から好評を得ることができた。 ・また、利用者アンケートでは職員対応や施設管理に対して高い評価をいただいております。日頃からの接遇や施設環境整備の成果が現れたものと考えている。 ・一方で、高い利用率を維持していることから利用申込みが重複し抽選となるケースも多く、利用者ニーズに十分応えきれていない側面も見受けられる。 ・今後も利用者ニーズの把握に努めながら、より魅力ある講座・事業の実施と利用者サービスの向上を図り、市民に親しまれるコミュニティ施設として更なる発展を目指していきたい。	・利用者ニーズを的確に把握し、幅広い世代が参加できる魅力ある講座及び各種事業を企画することで、更なる利用者層の拡大を図る。 ・高い利用率を維持している貸室については、利用者サービスの向上と公平・公正な施設運営の両立を図りながら、利便性向上に努める。 ・ホームページや広報誌等を活用した効果的な情報発信を継続し、新規利用者の獲得及び施設利用の促進を図る。 ・利用料金収入を活用しながら、利用者ニーズに応じた備品整備や施設環境の改善を進め、利用者満足度の向上を目指す。 ・職員研修の充実を図り、接遇能力及び業務知識の向上に努めることで、より質の高い市民サービスの提供を目指す。

[所管局の評価]	
総合評価	改善指導・指示事項
高い貸室の稼働率が維持されており、施設の管理運営全般に渡って、安定的かつ適切に運営されている。また、速やかに利用者ニーズに基づく備品の購入を実施するなど利用還元を図っており高く評価できる。定員に満たない各種講座や目標値を下回った事業については、的確なニーズの把握に努め、更なるサービス水準の維持向上や利用促進に向けた取組に努めていただくことを期待したい。	